

平成 28 年度 UR ひと・まち・暮らしシンポジウム (UR 技術・研究報告会) を開催

昨年度まで開催してきた UR 技術・研究報告会について、日本住宅公団創立 60 年を経過し、新たなステージとなる今年度からは、「UR ひと・まち・暮らしシンポジウム」と名称を変え、企画も新たに開催いたします。「人と地域をつなぐまちの再生」をテーマに、午前は株式会社新建築社「新建築」編集長四方裕^{しかたゆたか}氏をコーディネーターに迎えてのパネルディスカッション、午後は技術・研究報告と大阪市立大学大学院生活科学研究科教授の藤田忍^{ふじたしのぶ}氏による特別講演を開催いたします。

これらは、国土交通省の住生活月間 (10 月) の取り組みの一環として開催するものです。



©UR賃貸住宅 建築雑誌フォト&スケッチ展応募作品「夏祭り現場No.2」スーヴェル赤羽台 (東京都)

人と地域をつなぐまちの再生

平成28年度
URひと・まち・暮らしシンポジウム
UR技術・研究報告会

入場 無料 定員 285名

2016年10月27日(木) 大阪会場

テイジンホール
大阪府大阪市中央区南本町1-6-7
(アクセス) 地下鉄中央線・堺筋線
堺筋本町東出口(2号出口)から専用通路あり

お問い合わせは下記へお願いします。

本社 技術・コスト管理部 技術調査チーム

(電話) 045-650-0659

西日本支社 総務部 総務チーム

(電話) 06-6969-9008

平成 28 年度 UR ひと・まち・くらしシンポジウム〔大阪会場〕 開催概要

1 メインテーマ「人と地域をつなぐまちの再生」

時代の要請に応じてきた UR 都市機構。現在、まちや住まいを新しくつくることに加えて、再生することが求められていると考えております。人と地域をつなぎ、まちや住まいの魅力向上を図るため、UR 都市機構が取組む、再開発地域や賃貸住宅でのエリアマネジメントやコミュニティ形成支援、環境・防災問題等に係わる新たな方策・研究内容についてご報告いたします。

2 日時

平成 28 年 10 月 27 日（木） 10：20～17：00 （開場 10：00）

3 会場

テイジンホール（定員 285 名） 大阪府大阪市中央区南本町 1-6-7（帝人ビル）

4 内容（別紙 1～3 のとおり）

（1）パネルディスカッション：

「都市を再生させる 時代の要請に応える UR 都市機構の実行力」

コーディネーター：株式会社新建築社取締役 「新建築」編集長 四方 裕 氏

（2）特別講演：

「大阪長屋再生による創造的まちづくり」

講師：大阪市立大学大学院 生活科学研究科 教授 藤田 忍 氏

（3）調査研究、取組み等の報告

全 6 課題

（4）企画展

平成 26 年から開催している東日本大震災復興フォト&スケッチ展の企画展示を行います

5 入場料・テキスト料

無料 ※シンポジウム用テキストは、当日会場で配布いたします。

6 Facebook ページ

(アドレス) <https://www.facebook.com/urhoukokukai/>

本シンポジウムの企画内容を定期的に発信していく予定です。

7 CPD 認定

本シンポジウムは都市計画CPD認定を受けております。

※CPD単位は、都市計画学会以外の団体でも、認定される場合があります。認定可能団体につきましては、本シンポジウムのホームページでご案内しております。また、具体の申請方法等につきましては建設系CPD協議会のホームページまたは、所属されている団体のホームページ等でご確認ください。

8 その他の会場

	東京会場
日時	平成 28 年 10 月 6 日 (木) 10:20~17:20 (10:00 開場)
会場	日経ホール (定員 610 名) 東京都千代田区大手町 1-3-7 (日経ビル)
内容	①パネルディスカッション 「都市を再生させる 時代の要請に応える UR 都市機構の执行力」 コーディネーター：株式会社新建築社取締役「新建築」編集長 四方 裕 氏 ②特別プログラム 「エリアマネジメントとシビックプライド」 パネリスト：横浜国立大学名誉教授/一般財団法人森記念財団理事長/ 大丸有エリアマネジメント協会理事長 小林 重敬 氏 パネリスト：東京理科大学理工学部建築学科教授 伊藤 香織 氏 進行役：UR 都市機構 技術・コスト管理部長 栗原 徹 ③調査研究、取り組み等の報告 全 6 課題 ④企画展 団地景観・東日本大震災復興フォト&スケッチ展 ※詳細は、別紙【参考】 1~3 のとおり

平成 28 年度 UR ひと・まち・くらしシンポジウム〔大阪会場〕

1 パネルディスカッション

「都市を再生させる 時代の要請に応える UR 都市機構の执行力」

コーディネーター : 株式会社新建築社取締役 「新建築」編集長 四方 裕 氏

平成 28 年 3 月に新建築社より「都市を再生させる 時代の要請に応える UR 都市機構の执行力」を発行いたしました。「都市再生」、「団地再生」、「震災復興支援」を 3 本の柱とし、UR 都市機構のまち・すまいづくりでの役割をパネルディスカッション形式で報告します。

テーマ：大手町地区再開発事業/渋谷駅地区再開発事業/赤羽台団地建替事業/ストック活用の系譜について/女川復興まちづくり事業

2 特別講演：

「大阪長屋再生による創造的まちづくり」

講師 : 大阪市立大学大学院 生活科学研究科 教授 藤田 忍 氏

今、ナガヤ再生が熱い！大阪のまちなかに数多く残る長屋のリノベーションを通して、地域の魅力発信、コミュニティの活性化、新たな店舗の展開など、まちの活性化や経済振興への動きが出始めています。地域再生へのヒントにもなる取り組みについて仕掛人が語ります。

3 調査・研究、取り組み等の報告

(1) 団地でのコミュニティ醸成に向けた実践

—建築家 伊東豊雄氏と取組む「みんなの庭」から見えてくるもの—

(2) 地域医療福祉の拠点団地におけるコミュニティ形成の支援に向けた新たな取り組み

—みさと団地・日の里団地での試行的実践について—

(3) 地域をつなぎ防災力を高める空間づくり

—鈴鹿市「桜の森公園」での取り組み—

(4) 地震時の超高層集合住宅の挙動解明と今後の被害想定に向けた取り組み

(5) 都心部におけるエコロジカルネットワーク

—横断的なプラットフォーム構築に向けて—

(6) みんなの”居場所”をたのしくつくる

by UR-DIY 部

4 企画展

(1) 概要

平成 26 年から開催している東日本大震災復興フォト&スケッチ展の企画展示を行います。

(2) 展示日時

報告会同時開催（10月27日（木） 10：00 開場時から講演終了後まで）

(3) 展示場所

テイジンホール ロビー

【参考】〔東京会場〕10月6日（木） 日経ホール

1 パネルディスカッション

「都市を再生させる 時代の要請に応える UR 都市機構の执行力」

コーディネーター：株式会社新建築社取締役 「新建築」編集長 四方 裕 氏

平成 28 年 3 月に新建築社より「都市を再生させる 時代の要請に応える UR 都市機構の执行力」を発行いたしました。「都市再生」、「団地再生」、「震災復興支援」を 3 本の柱とし、UR 都市機構のまち・すまいづくりでの役割をパネルディスカッション形式で報告します。

テーマ：大手町地区再開発事業/渋谷駅地区再開発事業/赤羽台団地建替事業/ストック活用の系譜について/女川復興まちづくり事業

2 特別プログラム

「エリアマネジメントとシビックプライド」

パネリスト：横浜国立大学名誉教授/一般財団法人森記念財団理事長/

大丸有エリアマネジメント協会理事長 小林 重敬 氏

パネリスト：東京理科大学理工学部建築学科教授 伊藤 香織 氏

進行役：UR 都市機構 技術・コスト管理部長 栗原 徹

都市や賃貸住宅での暮らしを自分たちの手でもっと魅力的に、もっと楽しむために—。「エリアマネジメント」と「シビックプライド」というキーワードについてご講演頂き、2つのキーワードの関連性、これからの UR 都市機構の事業における展開をディスカッション形式でお話いただきます。

3 調査・研究、取り組み等の報告

(1) ひばりが丘団地における事業パートナー方式及びエリアマネジメントの取り組み

—より魅力ある、人々に愛され続けるまちづくり—

(2) 新虎通りエリアマネジメントについて

- (3) 地域医療福祉の拠点団地におけるコミュニティ形成の支援に向けた新たな取組み
—みさと団地・日の里団地での試行的実践について—
- (4) 地震時の超高層集合住宅の挙動解明と今後の被害想定に向けた取組み
- (5) 都心部におけるエコロジカルネットワーク
—横断的なプラットフォーム構築に向けて—
- (6) みんなの”居場所”をたのしくつくる
by UR-DIY 部

4 企画展

(1) 概要

平成 20 年から開催している団地景観フォト&スケッチ展及び、平成 26 年から開催している東日本大震災復興フォト&スケッチ展の企画展示を行います。

(2) 展示日時

報告会同時開催（10 月 6 日（水） 10：00 開場時から講演終了後まで）

(3) 展示場所

日経ホール ホワイエ（4 階）

以上